



ROCK PAINT

弱溶剤二液型変性エポキシシーラー

ユメロックシーラー (透明・ホワイト)

- 素地によく浸透し、すぐれた付着性を発揮
- ターペン希釈タイプで幅広い旧塗膜に対応

特長

- **浸透性にすぐれる**
特殊な変性エポキシ樹脂を使用しているため、各種素地によく浸透します。
- **付着性にすぐれる**
弱い弱素材の表面を補強するとともに、すぐれた付着性を発揮します。
- **塗装面の中酸化抑制**
水分や炭酸ガスの浸入を防ぎ、コンクリートなどの中酸化を防ぎます。
- **ターペン希釈型**
溶解力の弱いターペン系溶剤を使用しているため、旧塗膜を侵しにくく、活膜状態の各種旧塗膜に直接塗装が可能です。
- **臭気がマイルド**
においがマイルドなため、周辺地域や作業者の環境にも配慮した塗料です。

適応素地

- コンクリート、モルタル、フレキシブルボード、窯業系サイディングボード、けい酸カルシウム板、住宅用化粧スレート(各種新屋根材)など

適応旧塗膜

- 各種水性・溶剤型塗膜の屋内外塗り替え用として
(ただし、シリコン・フッ素樹脂系の旧塗膜には使用できません。また種類によってはリフティングを起こすことがありますので、塗装前に試し塗りを行ってください。)

品種・容量

主 剤 : 033-5150 ユメロックシーラー 主剤	12.5kg
: 033-5110 ユメロックシーラー ホワイト 主剤	12.5kg
硬化剤 : 033-5910 ユメロックシーラー 硬化剤	2.5kg

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

居室内で無制限に使用できます

日本建築学会材料規格

JASS 18 M-201
適合品

ロックペイント株式会社

ユメロックシーラー(透明・ホワイト)

弱溶剤二液型 変性エポキシシーラー

適応上塗塗料

- 水性塗料：ハイパービルロックセラ、サンフロンアクア、ビニロックウレタン、ユニロックハイグロス、ロック水性プロテクトルーフなど
- 弱溶剤塗料：ユメロック、ハイパーユメロック、サンフロンUV、ハイパーユメロックルーフ、サンフロンルーフなど
(1液ユメロックルーフを除く1液弱溶剤型の塗料は上塗りとして使用できません。)
(その他詳細な上塗り塗料については、当社営業迄お問合せください。)

使用方法

- 塗装方法：ハケ、ローラー、エアレス
- 希釈率：(透明)0% [通常不要]
(ホワイト)0~10% [塗料用シンナー]
- 配合比(重量)：主剤：硬化剤 = 5 : 1
- 乾燥時間

気 温	5℃	23℃	30℃
指 触 乾 燥	約1.5時間	約1時間	約45分
上塗り可能時間	8時間以上 7日以内	4時間以上 7日以内	3時間以上 3日以内

各数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスや考慮に入れた数値です。下地の状態、気象条件、塗装方法などにより多少異なる場合があります。

施工上の 注意事項

- 塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 気温が低いときや湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上の塗装は避けてください。
- 絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- 塗料全体をよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。
- 硬化剤は必ず専用硬化剤を使用してください。他の硬化剤を使用すると仕上がりが外観、塗膜性能に悪影響を及ぼします。
- 硬化剤を配合した塗料は、時間の経過と共に増粘・固化して使用できなくなります。配合した塗料は可使時間内に使い切ってください。
- 夏場の高温時は硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かず速やかに実施してください。上塗りとの付着性が低下します。
- 硬化剤はアミンフリータイプの少ない、主剤との相溶性にすぐれたアダクトタイプですが、施工時及び硬化するまでの間、低温(5℃以下)になる箇所への使用はできません。
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装を避けてください。
- シーリング材の上塗する場合、シーリング材の種類、劣化度により付着不良、収縮われなどを起こしたり、表面が汚れたりすることがあります。状況によっては、シーリング材用プライマー[ロックノンタックプライマー-S]を塗装してください。塗膜の汚染・剥離・はがれ、割れの低減が図れますが、シーリング材の種類によっては汚れ、付着不良が発生する場合がありますので試し塗りすることをお奨めします。なお、ノンブリードタイプのシーリング材に「ロックノンタックプライマー-S」は塗装しないでください。
- エマルジョンパテの外部での使用は避けてください。
- 外部の塗装について、塗料臭気が室内に入らないように換気装置などを停止し、開口部などの養生を行ってください。
- 塗装面の取り扱い等で可塑剤が多く含まれる建材(塩ビ鋼板、ラミネート鋼板、プラスチック、ゴムパッキング、塩ビクロスなど)への直接の塗装は塗膜が軟化することがあり避けてください。また、これらの素材に塗膜が接触・付着しないように注意してください。
- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、その他の断熱性が付与された建材など)を使用した高断熱型住居の外装を塗装する場合、状況により蓄熱、水分、素地、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なると、素地の変形、塗膜のふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 笠木、天端など長時間水の滞留する箇所では塗膜の白化、ふくれなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- サイディングボード表面に反り、うねりが発生している場合は、ビスの増す打ちなど状況に応じた補修を行ってください。また補修が困難な場合はボードの張り替えを行ってください。
- フッ素コート処理をはじめ無機系や光触媒処理のサイディングボードには、ハイパーシーラーエポ、ハイパーシーラーアクアを下塗りに使用してください。
- 新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- 屋外セメント系素地に段差・巣穴などがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。
- 吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。シーラー塗装は「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装してください。
- シーラー塗装後、塗装仕様の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすおそれがありますので、塗り重ね可能時間は守ってください。

安全衛生上 および 取扱い上の 注意

- [製品の危険・有害性]
- 引火性の液体である。
- 溶剤蒸気を吸入すると有機溶剤中毒になるおそれがある。
- 大量または継続的な暴露により健康障害を引き起こすおそれがある。
- 目、皮膚、粘膜などに対し刺激性がある。
- 感作性があり、皮膚に付着するとかぶれやアレルギーを引き起こすおそれがある。
- [救急処置]
- 目に入った場合には直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化あるときは、医師の診察を受けてください。
- [施工後の安全性について]
- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引き液しの際は、施主に対して安全性に十分注意を払うようにご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ベンキ塗りたてであるなど立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。

- 塗り回数：1回
- 標準塗付量：(透明) 0.08~0.13kg/m²・回 (115~187m²/15kgセット・回)
(ホワイト) 0.10~0.13kg/m²・回 (115~150m²/15kgセット・回)

気 温	5℃	23℃	30℃
可使時間(無希釈)	10時間	7時間	4時間

硬化剤を配合した塗料は次第に粘度が高くなり、やがて固化して使用できなくなります。上記を目安に配合した塗料は可使時間内に使い切ってください。可使時間を過ぎた塗料は正常な塗膜性能を発揮できません。

- 下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- 素地が濡れている時は塗装を避け、乾いてから塗ってください。また、素地が直射日光などで極端に熱くなっている時は塗装を避け、少し冷えてから塗装してください。
- 乾燥過程で霜、夜露などの影響を受ける時間帯や、昼と夜の温度差が大きい時期は、結露による艶引け現象が起こる場合があるため、時間を考慮して塗装を行ってください。
- 塗装時は、高い所から降り口を確保しながら塗装してください。塗りたての面は滑りやすいので絶対に乗らないでください。塗り残しがあった場合も乾燥後に補修塗りをしてください。
- 作業時の安全には十分注意し、高所で作業する場合は安全ロープをかけて行ってください。
- 新屋根材などで軽度の不陸がある場合は、下地調整材としてロック水性プロテクトルーフサフを使用してください。
- 無機系、フッ素系などで処理した住宅用化粧スレート(新屋根材)には、下塗りにハイパーシーラーエポを塗装してください。
- セメント系瓦の場合、塗装後に水切り部で瓦の重なり合った部分に塗料が付着していると漏水の原因となります。必ず皮スキなどを使用し塗料の除去、縁切りを行ってください。
- 改修塗装で弱溶剤型のシーラーを使用した場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤の影響により、ふくれ、ちぢみなどが発生することがありますので、試し塗りをしたうえで本塗装を行ってください。
- 陶器瓦、アスファルトシングル材、乾式コンクリート瓦(モニエル瓦、スカンジア瓦など)には適していません。
- 塗装作業中および乾燥中は換気を十分行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- 改修塗装の場合、素地の種類や下地処理方法によって塗膜不良となる事があります。あらかじめ適切な処理を行い試し塗りをすることをお奨めします。
- 改修塗装の場合、脆弱な旧塗膜、汚れ、チョーキングなどはディスクサンダー、皮スキ、ワイヤーブラシなどで除去し、高圧洗浄を行った後、24時間以上乾燥させてください。(気温23℃、湿度65%の場合)
- 旧塗膜が弾性系の塗膜(弾性リシン、弾性スタッコ)やアクリル樹脂エナメルなどの場合、すでにふくれが発生していることがあります。そのまま塗装するとふくれが拡大することがありますので、ふくれ箇所は完全に除去してください。
- 仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗付量は塗装時のロスや考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- 塗り重ね可能時間(乾燥時間)は塗装現場の温度、湿度、風通し、素地の状態などにより、多少変わります。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となる事があります。また、各工程において当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- カタログに記載されていない素地及び塗装方法、工程で施工する場合、塗膜欠陥を起すことがありますので、使用前に最寄りの営業所へお問い合わせください。
- この塗料はホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆タイプです。F☆☆☆☆以外の材料(被塗物、素地を含む)を使用したり、各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆でなくなることがありますので注意してください。
- 上塗り塗料に合成樹脂調合ペイントや1液弱溶剤型塗料は使用できません。
- このカタログに記載されている上塗り塗料などに関する詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。
- 取扱いの際は製品容器の注意書き、製品カタログおよび安全データシート(SDS)をよく読み、注意事項を厳守してください。

- [取扱い注意事項]
- 取扱いは引火源のないところで、特に静電気が発生するような衣服の着用や、取扱いは避けてください。
- 取扱い作業所には局所排気装置を設け、塗装時および乾燥時には十分に換気をしてください。
- 溶剤蒸気やスプレードストを吸引しないように、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクなどの適切な保護具を着用してください。
- できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護めがね、保護手袋(耐溶剤性)、長袖作業着などを着用してください。
- アレルギー体質の人は取り扱わないでください。
- 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に、作業着等に付着した汚れをよく落とすしてください。
- よくふたをして直射日光を避け、5℃以上40℃以下で子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから廃棄してください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。
- 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。

※安全データシート(SDS)をよく読んでからご使用ください。

ロックペイント 株式会社

東京営業部 〒136-0076 東京都江東区南砂2-37-2
TEL(03)3640-6000 FAX(03)3640-9000
札幌営業部 〒003-0011 札幌市白石区中央一街4-3-48
TEL(011)812-2761 FAX(011)812-9304
仙台営業部 〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代2-3-11 遠正ビル201
TEL(022)349-8677 FAX(022)283-3255
西関東営業部 〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本1-15-16
TEL(042)700-3111 FAX(042)700-3112

大阪営業部 〒555-0033 大阪市西淀川区姫島3-1-47
TEL(06)6473-1650 FAX(06)6473-1000
名古屋営業部 〒454-0059 名古屋市中川区福川1-1-1
TEL(052)351-6500 FAX(052)361-7433
岡山営業部 〒701-1134 岡山市北区三和1000番34
TEL(086)294-1201 FAX(086)294-6966
福岡営業部 〒811-0119 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3-2-1
TEL(092)962-0661 FAX(092)963-1241

URL <https://www.rockpaint.co.jp>

●本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店